

2018

ANNUAL REPORT

社会福祉法人 光仁会 富竹の里
KOUJINKAI TOMITAKENOSATO

KOUJINKAI **TOMITAKENOSATO** **ANNUAL REPORT** **2018**

会社沿革 Company History ... 3

会社概要 Company Profile ... 6

企業理念 Corporate Philosophy ... 7

倫理行動規範 Code of business conduct and ethics ... 7

TOPICS ... 8

- 1 サービスの質向上、法令遵守の取り組みを振り返る
- 2 地域貢献の取り組みを振り返る
- 3 人材育成の取り組みを振り返る
- 4 地域とのつながりを振り返る
- 5 危機管理体制の取り組みを振り返る
- 6 働きやすい職場環境整備の取り組みを振り返る
- 7 看取り介護の取り組みを振り返る

DATA ... 15

財務ハイライト Financial highlights ... 18

公正な事業慣行 ... 19

各事業所 TOPICS ... 20

会社沿革 Company History

起源 Origin

1986年（昭和61年）に「社会福祉法人光仁会富竹の里」は誕生しました。

当時は、戦後の医療技術の進歩、食生活の向上、国民皆保険制度の確立などにより、人生80年時代を迎え、世の中は高齢化社会の時代。長野市においても高齢者数は約3万6千人と人口の約10%を超え、認知症や寝たきりの高齢者の介護を真剣に考えなければならないときでした。

このような状況に鑑み、特別養護老人ホーム富竹の里を建設、運営し、社会的要請にこたえ、老人福祉の向上に寄与することを目的として法人が設立されました。

CHAPTER 1 1986～



社会福祉法人光仁会富竹の里の設立

特別養護老人ホーム富竹の里、富の里
ショートステイホームの開設

CHAPTER 2 1990～



在宅福祉事業への飛躍

デイサービスセンター、ホームヘルプ
サービスの開始
(水戸黄門様出演者御一行様来訪 1993.3)

CHAPTER 3 2000～



介護保険制度施行

地域密着型施設、地域包括支援センターの
開設
富竹の里デイサービスセンターの新築移転

CHAPTER 4 2016～



地域包括ケアに向けて

地域福祉の発展に全力をささげていただ
いた方々への感謝の念を捧げつつ、新た
な時代に向かって歩み始めています。

軌跡を辿る Follow the trajectory

創設期

昭和58年	4月	老人ホーム建設構想検討開始
60年	4月	法人設立準備委員会発足
61年	7月	社会福祉法人光仁会富竹の里設立認可
	8月	特別養護老人ホーム富竹の里建設着工
62年	4月	特別養護老人ホーム富竹の里開所（定員50名）
	7月	短期保護事業開始（定員4名）
63年	2月	在宅寝たきり老人入浴サービス事業開始
	4月	社会福祉士及び介護福祉士方施行

推進期

平成2年	4月	長野市古里デイサービスセンター開所
	6月	社会福祉関係8法の改正
3年	4月	短期保護事業定員2名増（6名） 「家庭奉仕員」が「ホームヘルパー」に改称
5年	5月	介護福祉機器貸付事業開始
6年	8月	富竹クリニック開院
7年	12月	短期保護事業定員2名増（8名）
9年	10月	長野市在宅介護支援センター富竹の里開所
	11月	富竹の里家族会結成
10年	6月	富竹の里ホームヘルプセンター開所

充実期

平成12年	2月	短期保護事業定員6名増（14名） 機能訓練室等を準個室へ改修
	9月	長野市から古里デイサービスセンター無償譲渡 特別養護老人ホーム富竹の里定員2名増（52名） 富竹の里ショートステイホーム定員2名減（12名） 富竹の里デイサービスセンター定員5名増（25名）
13年	4月	苦情解決相談委員設置
	6月	評議員会制度導入
14年	6月	富竹の里デイサービスセンター定員5名増（30名）
	11月	富竹の里デイサービスセンターホール増設
16年	4月	富竹の里和み開所（定員20名） 特別養護老人ホーム富竹の里定員4名減（48名） 富竹の里ショートステイホーム定員4名増（16名）
	6月	富竹の里デイサービスセンター定員3名増（33名）

変革期

平成18年	4月	高齢者虐待防止法制定 富竹の里介護予防（訪問、通所、短期）3事業所指定
20年	4月	後期高齢者医療制度開始
	10月	介護付有料老人ホーム上松ホーム開所（定員15名）
23年	4月	富竹の里、富竹の里和み スプリングラー運用開始
24年	6月	介護付有料老人ホーム上松ホーム定員9名増（24名）
25年	10月	長野市地域包括支援センター富竹の里開所
27年	3月	富竹の里デイサービスセンター移転新築
	7月	介護予防事業（生活らくかる運動塾）開始
28年	1月	旧デイサービスセンターを富竹の里いきいきセンターへ名称変更
	4月	社会福祉法改正
	10月	富竹の里デイサービスセンター定員2名増（35名）
29年	1月	富竹の里デイサービスセンター 通所型基準緩和サービス指定（定員15名）
30年	4月	富竹の里大規模改修工事・多床室プライバシー保護改修工事竣工 介護予防（通所、訪問）が長野市の実施する総合事業へ移行

2018年4月竣工



さらなるお客様満足のために、
リニューアル

特別養護老人ホーム富竹の里は、住環境の質向上を目的に、4人部屋に間仕切りの建具を設置するなど、プライバシーに配慮した施設に生まれ変わりました。個室の特養より低額な料金でご利用いただけます。より一層、皆様のお役に立てる施設を目指します。



地域を支える社会福祉事業を実践します
Social welfare service to support communities

会社概要 Company Profile

法人名	社会福祉法人光仁会富竹の里（こうじんかいとみたけのさと）
代表者	理事長 久田 祐司（ひさた ゆうじ）
所在地	〒381-0006 長野県長野市大字富竹字堰下1621番地（法人登記） TEL (026) 296-7383（代） FAX (026) 296-7384
設立	1986年（昭和61年）8月28日
事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
事業内容	社会福祉事業
主な事業	<p>【第一種社会福祉事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別養護老人ホーム事業 <p>【第二種社会福祉事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・老人短期入所事業 ・老人デイサービス事業 ・老人居宅介護等事業 ・障害福祉サービス事業（居宅介護、重度訪問介護） ・地域生活支援事業（移動支援事業） <p>【公益事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・居宅介護支援事業 ・有料老人ホーム上松ホームを運営する事業 ・特定施設入居者生活介護事業 ・長野市地域包括支援センター事業 ・介護保険法に基づく第一号通所事業

特別養護老人ホーム富竹の里
TEL026-296-7383 FAX026-296-7384

特別養護老人ホーム富竹の里和み
TEL026-296-7705 FAX026-296-7384
介護付有料老人ホーム上松ホーム
TEL026-237-1660 FAX026-237-1661

長野市地域包括支援センター富竹の里
TEL026-295-7780 FAX026-296-8025

富竹の里ショートステイホーム
TEL026-296-7383 FAX026-296-7384

富竹の里デイサービスセンター
TEL026-296-2867 FAX026-296-7384

富竹の里ホームヘルプセンター
TEL026-296-7385 FAX026-296-8025

光仁会富竹の里介護支援センター
TEL026-296-8004 FAX026-296-7384



企業理念 Corporate Philosophy

私達は、

地域に開かれた信頼される施設づくりを目指します。

利用者の人権を尊重し、明るく健康的でやすらぎのあるサービスの提供を目指します。



光仁会の「K」は「光」を意味し、富竹の里の「T」は「人」を意味しています。光仁会の光（羅針盤）が、人（ご利用者、ご家族、地域住民、職員）の心に届く暖かい光（かがやき）を射しています。また、人の足元をてらし道筋を示しています。光仁会の名称は、「愛と輝きをもととして互いに慈しみあう会」という意味です。

倫理行動規範 Code of business conduct and ethics

サービスに関すること

- すべての方に対し、平等で公平な介護サービスに努めます。
- 思いやりをもって、私たち一人ひとりができることを精一杯行います。
- 常に自己研鑽に励み、根拠に基づいた安全で効率的な介護サービスに努めます。
- 専門職として高い倫理観を持って、職務に専念します。

ご利用者の保護等に関すること

- 人権・権利を尊重します。
- 知り得た事柄の守秘義務を厳守し、個人情報適切に取り扱い保護します。
- 原則として身体拘束を行いません。
- 相談苦情は、真摯に受止め、迅速・丁寧・公正に対応します。

チームワークに関すること

- 多様性を尊重し、相手の身になって、相手が不快・不安となる言動を慎みます。
- 簡潔で明確な言い方で相手に伝えます。
- 確認・連絡・報告を徹底します。
- 社会・社内のルールを守ります。
- 知識やアイデアを共有して、お互いの成長を目指します。

環境に関すること

- 省資源・省エネルギー活動を推進します。
- 5S（整理、整頓、清掃、清潔、躰）の基本行動により、業務の効率化・質の維持向上・安全管理・教育訓練等の推進に努めます。

1

サービスの質向上、法令遵守の取り組みを振り返る

「目標・現実」課題

急速に進展する少子高齢化と福祉ニーズや価値観の多様化、高度化の流れといった社会の変容は、サービスを提供する我々に大きな影響を与えています。今まさに、単に生命や健康の維持だけではなく、尊厳の保持や一人ひとりのニーズや価値観にあった日常生活の確保を実現していくことが求められています。そこで、職員に介護サービスのquality向上のためのアンケート調査を行いました。多くの職員がご利用者への支援や職員関係でのストレスを抱えながら業務に従事している反面、やり甲斐を持って働いていることも伝わってきました。職員個々の声を集め、思いを見える形にまとめたことにより、共通した課題などが見えてきたため、職場環境整備とサービスの質向上の取り組みを開始しました。

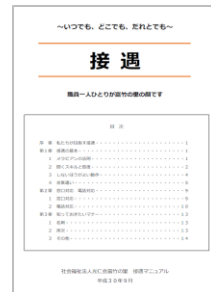
品質方針書の作成と伝達を行いました

理念や倫理行動規範、業務の基準などが記され、サービスの質向上に取り組むための冊子「品質方針書」を制作し、雇用形態に関わらず全スタッフに配布しました。また、新規職員採用時等には本書をテキストとして使用し、職員間で統一できるよう取り組みました。



接遇マニュアルを作成しました

「接遇マニュアル ～いつでも、どこでも、だれとでも～ 職員一人ひとりが富竹の里の顔です」を作成しました。私たちは、虐待・身体拘束・不適切なケアの未然防止においても、接遇の視点は大変重要と考えています。11月を「接遇強化月間」と位置づけ、翌月には「接遇〇△×チェックシート」を用いて評価を行いました。



顧客満足度アンケートを実施しました

顧客満足度アンケートを実施した結果、施設、在宅ともに80パーセントの方が満足との回答を得ました。結果については、事業所ごとに一つひとつのご質問に返答する形で取りまとめ、ホームページに公表いたしました。

平成30年度 特別養護老人ホーム富竹の里 満足度アンケート集
このアンケート調査は、当法人の行う事業所の評価をさせていただき、お客様の意見を把握し、運営や満足度向上に反映させていくための貴重な基礎資料とするために実施いたしました。；
お寄せいただけます。ご回答いただきました皆様に感謝申し上げますとともに、今後ともご理解
ようよろしくお願い申し上げます。

調査項目	選択回数					記述回答
1 基本情報	45人の中から35人のご回答をいただき、回答率は77.8%となった。					
1-1 ご回答者	ご本人：2.9%	ご家族：71.4%	その他：0%	記入なし：25.7%		
	満足	やや満足	やや不満足	不満足	未記入	
1 情報性について						2ややや不満 1不満の理由
1-1 建物の見栄え	60.0%	34.3%	5.7%	0.0%	0.0%	建物の中は改善してきれいになってお朽化している
2 建物の雰囲気	65.7%	28.6%	5.7%	0.0%	0.0%	職員・業務中声の低いつらさ、騒音・業務中声の低いつらさ、花壇に思い
3 清潔な居住環境	68.6%	31.4%	0.0%	0.0%	0.0%	部屋が仕切られているので空気の
4 建物の設備	54.3%	37.1%	5.7%	0.0%	2.9%	設備は、テーブルが古い、廊下
5 職員の身だしなみ	74.3%	25.7%	0.0%	0.0%	0.0%	廊下の中の個人毎の責任感に
2 信頼性について						2ややや不満 1不満の理由
2-1 約束の実行	68.6%	28.6%	0.0%	0.0%	2.8%	
2-2 繰り返り	74.3%	27.9%	0.0%	0.0%	2.8%	

一般指導監査・実地指導報告

長野市保健福祉部福祉政策課福祉監査室による社会福祉法人・社会福祉施設等指導監査が実施され、法人及び事業所の運営等についてチェックを受けた結果、適性に運営がなされており指導等はありませんでした。

2

地域貢献の取り組みを振り返る

つながり Connection



厚生労働省は、団塊の世代が75歳以上となる2025年を目途に、重度な要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築を実現しようとしています。当法人においても「地域包括ケアシステム」の一員として、地域の支え合い体制づくりや地域住民の方に対する効果的かつ効率的な介護予防支援等を推進するための取り組みを実施しました。

認知症サポーター養成講座を開催しました

認知症施策等を推進するため、長野市地域包括支援センター富竹の里の協力により、東北中学校の生徒を対象に認知症サポーター養成講座を実施しました。写真は寸劇的一幕です。先生も参加していただき、緊張がほぐれ、認知症についての理解が深まったと思います。勇気ある「声かけ」が「命を救う」ことにつながる。認知症についてお互いに学びあうことができました。



newsletter

社会福祉法人光仁会富竹の里 公開講座

地域を支える社会福祉事業を実践します
Social Welfare Service to Support Communities

紹介します！
知って役立つ、やさしい健康・医学 無料

運動器の障害の予防と対策
～いつまでも健康でい続けるために～

①いつまでも健康でいたいけど 痛みとも上手に付き合いたい
富竹クリニック 院長 田中 研一 先生

②自宅でもできる！簡単に楽しく続けられるエクササイズ
健康運動指導士 宮崎 博記 先生

年を重ねることに起こる眼、鼻、舌、歯などの痛み、要支援、要介護の発生要因に基き第1位は、この運動器の障害です。今回はこの運動器の障害についての正しい知識を身につけ、その予防のために大切な運動について一緒に考えてみましょう。

平成30年
11月17日(土)
開会 / 13:30
閉会 / 15:30
場所 / 富竹の里いきいきセンター

お問い合わせ先
〒381-0004 長野県大学富竹1601番地
社会福祉法人光仁会富竹の里
TEL. 026-296-7383

市民公開講座を開催しました

地域の皆様が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるように「運動器の障害の予防と対策」をテーマに市民公開講座を開催し、約30名の市民の皆さんにご参加いただきました。



施設スペースの無料開放

平成30年12月より開始した、地域住民を対象にした施設スペースの無料開放については、毎週平均25名の方が介護予防運動に参加されました。この取り組みをとおして、生涯現役社会の実現に向けた高齢者等の活躍できる地域づくりにつなげることができればと考えています。



3

人材育成の取り組みを振り返る

キャリアアップ Career advancement



光仁会富竹の里では、新人職員・役職者・専門職員等を対象とした研修を年間研修計画に沿って実施しています。資格取得や資格更新のための研修や受験費用はすべて法人負担としました。環境の変化に敏感に対応すべく、固定概念にとらわれない意識改革、サービス向上にチャレンジする意欲と能力、高い倫理観と幅広い知識を持った職員の育成に取り組みました。

目標に向かって Step up エルダー制度実施

新しく入った職員が、さまざまな不安を取り除きながら職場に慣れ、また理論的で根拠のある適切なサービスを提供することができるよう先輩職員が指導する制度です。



ハラスメント防止研修実施

ハラスメント防止は企業の重要なリスクマネジメントの一つです。外部講師(公益財団法人21世紀職業財団)を迎えて各事業所の管理者及び主任級を対象にしたハラスメント研修を開催しました。



虐待防止研修実施

淑徳大学副学長の山口光治先生をお招きして、高齢者虐待防止研修を開催しました。虐待は一部の特殊な人が行うものではありません。今回は事例検討により、職員一人ひとりが自分の意見を出し合い、虐待防止に向けた意識をより一層強めることができました。怒りは自分を守る防衛本能です。アンガーマネジメントについて個人として組織としてどうすべきかを真剣に学びあいました。



4

地域とのつながりを振り返る

地域共生 Community involvement



光仁会富竹の里は、施設サービス・在宅サービスの事業所内運営に止まらず、地域と共に歩み続けています。施設サービスをご利用されるお一人おひとりが、地域の一員として、この地に暮らし続けることを大切にしています。

みすず雅楽会さん

悠久の時を経て、

心の奥に響く伝統芸能の技と美「雅楽」



富建千引神社神楽保存会 富建千引神社 秋祭り

獅子舞で、無病息災、延命長寿、所内安全

を願い、悪魔払いと四方固め



ふるさと青少年太鼓道場のみなさん

「転禍招福息災延命」という掛け声の入った

「飛竜三段返し」

聖徳保育園さん

ビンゴ大会、輪投げなど

レクリエーション交流



自宅で獅子神楽観覧

特養ご利用者のご家族からご希望があり、自宅で獅子神楽を観覧する外出計画を企画。地元で熱心に獅子神楽の活動をされてきたとのことで、見つめる眼差しは真剣そのもの。みんなで昔を懐かしみながら秋祭りを楽しみました。

5

危機管理体制の取り組みを振り返る

安全第一 Safety first



火災・地震に加え、ゲリラ豪雨などが頻繁に起こるようになった日本では、いつでも、どこでも大水害が発生するという前提で備えをする必要があります。
光仁会富竹の里においても、自然災害に伴う被害軽減策に対するさらなる取り組みを実施しました。

大水害 避難誘導訓練

水害を想定した避難訓練を行いました。今回は梅雨前線と台風の影響で千曲川が氾濫する危険性が高まったと想定。福祉車両5台を使用し、富竹の里から協定を締結した近隣の高層福祉施設へ非難を実施しました。また、エレベーターが使えなくなったときを想定し、車椅子階段昇降介助訓練も合わせて実施しました。



6

働きやすい職場環境整備の取り組みを振り返る

チームケア Team care



政府は一億総活躍社会を実現するための改革である働き方改革や現場の生産性と効率性を飛躍的に高めるためのICT・IOTの活用をより一層加速させています。光仁会富竹の里においても人材確保と定着は喫緊の課題であり、働きやすい職場環境の整備を推進する取り組みを実施しました。

職員満足度アンケートの実施

職員に介護サービスのquality向上のためのアンケート調査を行いました。多くの職員がご利用者への支援や職員関係でのストレスを抱えながら業務に従事している反面、やり甲斐を持って働いていることも伝わってきました。職員個々の声を集め、思いに見える形にまとめたことにより、共通した課題などが見えてきたため、職場環境整備とサービスの質向上の取り組みを開始しました。



インカムの導入

特養富竹の里において、インカムを導入しました。ご利用者の安全安心な生活環境の向上、職員の業務効率化・生産性の向上の取り組みを推進します。

インカムを活用した業務改善に向けて

インカムとは・・・ 職員間で一斉に会話ができる通信機

【現状】

- 職員を探すなどの無駄な時間がある
- 助けが必要なとき、すぐに応援を頼めない
- 報告連絡相談など、情報共有に時間がかかる
- 職員が1人でケアする機会の増加
- 介護事故の発生
- 不安などの精神的な負担
- 個々による支援内容の違い
- 内線対応による非効率
- 業務の進捗状況の把握が困難 など

➔

【インカムシステムの導入】

- 必要な職員がすぐ見つけられ、応援体制が整う
- お客様の安全向上
- 不安や孤独感の解消
- 精神的な負担(ストレス)の軽減
- 仕事の効率アップ
- チーム力の向上
- 大声のない静かな環境維持
- 危機管理能力の向上
- 職員への瞬時の情報共有(在庫管理含む)
- 職員の離職防止

インカム導入で、削減が見込める時間は・・・

支援中断時間(非効率時間)

情報把握 所要時間平均44秒 × 平均3.7回/日 × 職員数 4人 = 651秒/日 (10分51秒)

ナースコール対応 所要時間平均62秒 × 平均3.6回/日 × 職員数10人 = 2,232秒/日 (37分12秒)

応援要請 所要時間平均50秒 × 平均3.3回/日 × 職員数10人 = 1,914秒/日 (31分54秒)

【1日】 約4,797秒(約80分:1時間20分)

【1か月】 約2,432分(約40時間) = 80分/日 × 30.4日(365日 ÷ 12か月)

平成30年9月実施アンケートから算出



インカムの使用方法とルール

- 使用方法

【使用前】

 - ① イヤホンマイクケーブルを接続する。
 - ② ボリューム調節部分を直し電源を入れる。
 - ③ 音量は「モニタ」スイッチで確認する。

【使用中】

 - ① ボリューム調節部分を直し電源を切る。
 - ② イヤホンマイクケーブルを抜く。
 - ③ 充電機にしっかり入れる。
- ルール

【交換の前】

 - ① 「〇です」と自分の名前を伝える。
 - ② 「……」と相手の名前を伝える。
 - ③ 「はいです」と相手の名前を伝えるようにする。
 - ④ 「〇です。……の件、了解しました」と返答する。
 - ⑤ 「わかりました」と返答する。
 - ⑥ 話す時はPTTスイッチを押して発信します。
 - ⑦ PTTスイッチを離している間は相手が発信できません。
 - ⑧ 上記ルールを全員に共有します。

【約束】

返事を必ずしよう!

「はい、確認しました。」
「ありがとうございます。」
「了解しました。」

良いことを伝えよう!

良かったこと、誰かにとって
心になったこと、
感謝を伝えよう。

仲間を思いやろう!

「ありがとう、助かりました。」
「ありがとう、お疲れ様です。」

相手をしよう!

わからない、思ったことなどは、
遠慮なく相談し、
意見を交換しましょう。

職員を頼る時は必ず!

「○○(名前)さん、お願いします。」
「○○さん、お願いします。」
「○○さん、お願いします。」

インカムが壊れたら!

「○○(名前)さん、お願いします。」
「○○さん、お願いします。」

質の高い死 Quality of death



私たちは、ご利用者の人生の最期のフェーズに携わり、エンディングストーリーを適切につくり上げていく役割があります。ご利用者との会話をとおして、想いを尊重し、納得できるプロセスをガイドすることが責務だと思っています。

看取り介護をさせていただいたご利用者数

事業所名	退所者数	看取り実施者数
特別養護老人ホーム富竹の里	16	11
特別養護老人ホーム富竹の里和み	4	4
介護付有料老人ホーム上松ホーム	6	1
富竹の里ショートステイホーム	-	1
合計	26	17

ご家族との研修会の実施

特養ご利用者のご家族にもご参加いただき、看取り介護について嘱託医の講演と施設での実践報告をさせていただきました。百人いれば百通りの生き方、逝き方がある。人生の最期まで尊厳ある生活（その人らしい生活）を支援します。



振り返り（Conference）

看取り介護の実践では、多くの気づきや学びがあります。各事業所では、それらの意見を真摯に受け止め、さらなる看取り介護の充実に向けて動き始めます。

職員の皆様へ

亡くなり自宅に帰った日の夜、愛犬の金ちゃんがおばあちゃんのそばを離れず、ずっと枕元に寄り添っていました。
最後の日ははじめは意識もありMに座るといっていました。と思っていると、最後は口を動かして…何か言いたかったのかなと感じました。
もうじき1か月経ちますが、まだここにお世話になっているような気がします。
会いに来て、「忙しいだろうから帰らな。この皆さんがよくしてくれるから大丈夫だ」と言われ、安心して家に帰ることができました。
本当にお世話になりっぱなしでしたが、ありがとうございました。

家族

ご家族から温かい感謝のお言葉を頂戴しました。

「明日ありと思う心の仇桜 夜半に嵐の吹かぬものは」

親鸞聖人

「明日でいい」と思っていたら、機を逃してしまったということはよくあること。

先延ばしすることで、そのときの気持ちは薄れていく。

「明日」は「明後日」になり、「明後日」は「いつか」になり、

「いつか」は「永遠に」…ということもある。

明日、自分や相手の命があるかどうかなんてわからない。

だからこそ今を精一杯大切にしたい。

事業所毎の利用率等

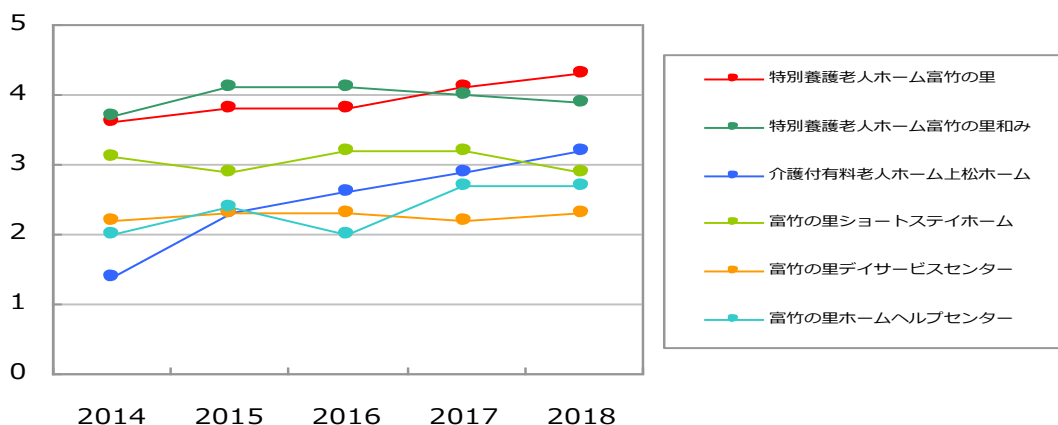
事業所名	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年
特別養護老人ホーム富竹の里	96.6	96.4	97.7	94.2	96.4
特別養護老人ホーム富竹の里和み	94.6	98.1	97.9	98.9	97.6
介護付有料老人ホーム上松ホーム	94.0	95.3	95.3	94.6	95.9
富竹の里ショートステイホーム	83.0	81.0	81.7	76.1	81.4
富竹の里デイサービスセンター (介護保険、相当サービス)	87.5	91.2	83.4	77.0	76.5
富竹の里デイサービスセンター (通所型基準緩和サービス)	-	-	46.3	44.5	40.8
富竹の里ホームヘルプセンター (介護保険、相当サービス)	6265 : 20	5738 : 25	3861 : 35	3897 : 49	3403 : 31
富竹の里ホームヘルプセンター (障害福祉サービス)	434 : 50	1057 : 00	1248 : 00	1074 : 30	595 : 00

事業所毎の平均年齢

事業所名	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年
特別養護老人ホーム富竹の里	89.4	90.0	89.3	88.8	88.6
特別養護老人ホーム富竹の里和み	87.3	87.5	87.8	88.8	89.4
介護付有料老人ホーム上松ホーム	87.9	87.4	87.3	88.1	89.4
富竹の里ショートステイホーム	89.2	89.9	87.3	87.9	89.0
富竹の里デイサービスセンター (介護保険、相当サービス)	86.3	86.6	86.5	87.5	87.9
富竹の里デイサービスセンター (通所型基準緩和サービス)	-	-	76.3	80.2	81.5
富竹の里ホームヘルプセンター (介護保険、相当サービス)	82.5	83.3	85.5	85.0	85.5
富竹の里ホームヘルプセンター (障害福祉サービス)	43.8	51.1	53.5	46.2	52.4

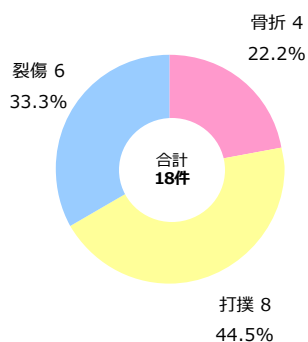
事業所毎の平均介護度

事業所名	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年
特別養護老人ホーム富竹の里	3.6	3.8	3.8	4.1	4.3
特別養護老人ホーム富竹の里和み	3.7	4.1	4.1	4.0	3.9
介護付有料老人ホーム上松ホーム	1.4	2.3	2.6	2.9	3.2
富竹の里ショートステイホーム	3.1	2.9	3.2	3.2	2.9
富竹の里デイサービスセンター	2.2	2.3	2.3	2.2	2.3
富竹の里ホームヘルプセンター	2.0	2.4	2.0	2.7	2.7



事故報告件数

種類	件数
骨折	4
打撲	8
裂傷	6
合計	18

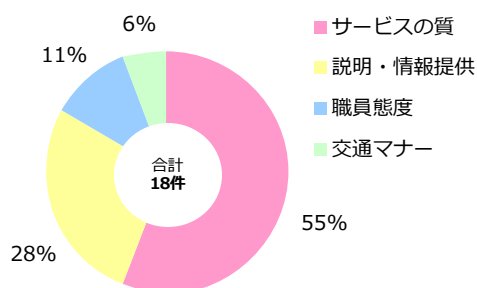


私たちは、長野市介護保険事故報告事務取扱要領に従い、介護保険サービス提供に当たり、以下の報告対象に該当する事故等が発生した場合は、長野市に報告を行っています。

1. 利用者が死亡または負傷※した場合
※負傷とは、医師の保険診療を要したものを。
2. 利用者が無届で外出し、警察・消防等に捜索協力を依頼した場合
3. その他事故により、利用者家族等から苦情が出ている場合

相談苦情件数

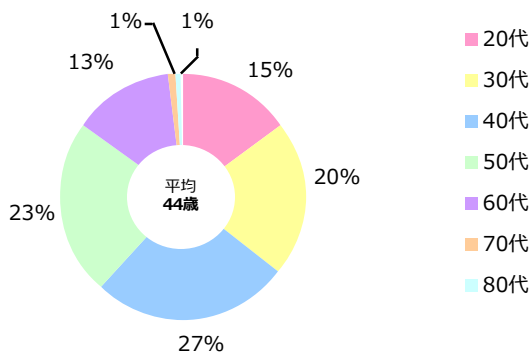
種類	件数
サービスの質	10
説明・情報提供	5
職員態度	2
交通マナー	1
合計	18



苦情解決第三者委員会を開催し、発生したすべての相談・苦情・介護事故について報告し、助言指導を頂きました。

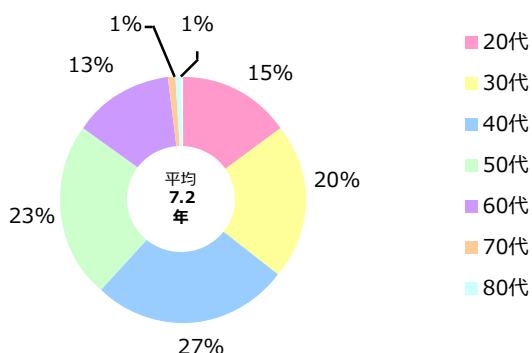
Staffの年齢割合

年代	人数
20代	15
30代	21
40代	27
50代	24
60代	14
70代	1
80代	1



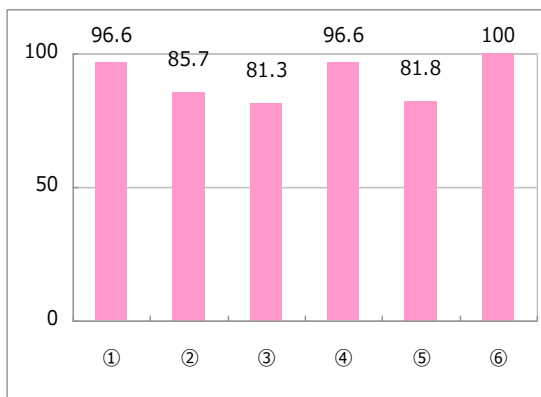
Staffの勤続年数

年代	人数
3年未満	25
3～5年	17
5～10年	34
10～15年	12
15～20年	10
20～25年	2
25年以上	3



事業所毎の介護福祉士保有者数

	事業所名	保有率
①	特別養護老人ホーム富竹の里	96.6
②	特別養護老人ホーム富竹の里和み	85.7
③	介護付有料老人ホーム上松ホーム	81.3
④	富竹の里ショートステイホーム	96.6
⑤	富竹の里デイサービスセンター	81.8
⑥	富竹の里ホームヘルプセンター	100.0

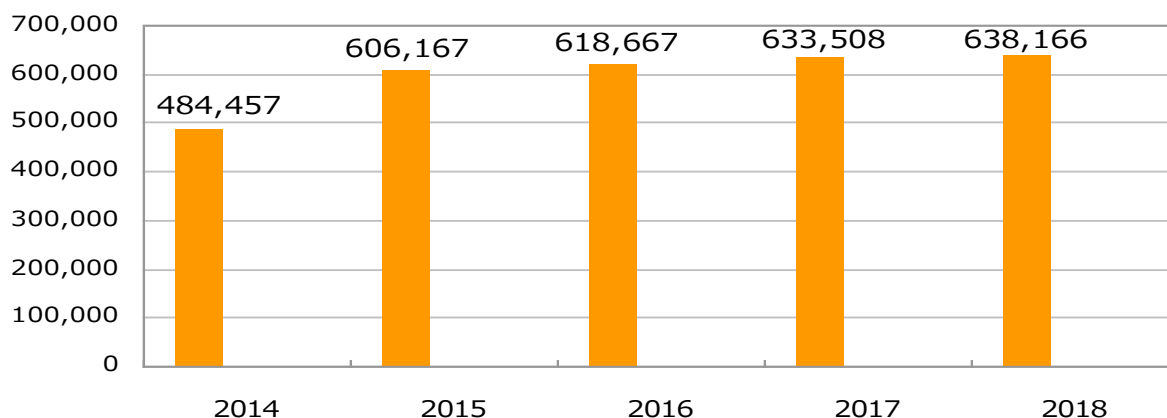


財務ハイライト Financial highlights

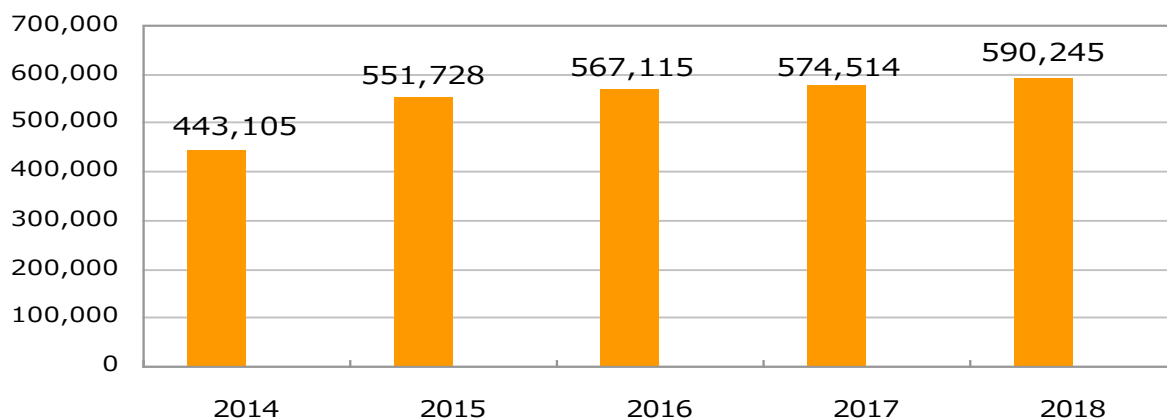
単位：千円

	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年
事業活動収入	484,457	606,167	618,667	633,508	638,166
事業活動支出	443,105	551,728	567,115	574,514	590,245
事業活動収支差額	41,352	54,439	51,552	58,994	47,921

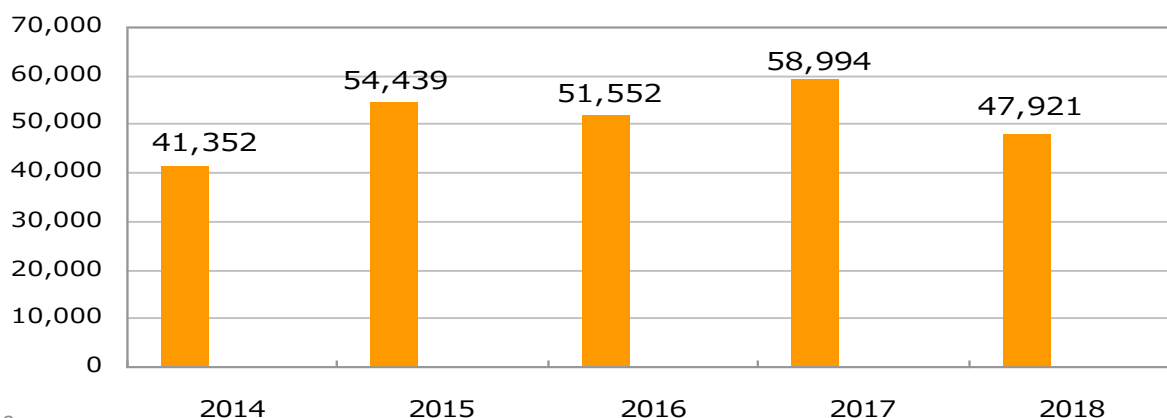
事業活動収入 Revenues



事業活動支出 Expenditures

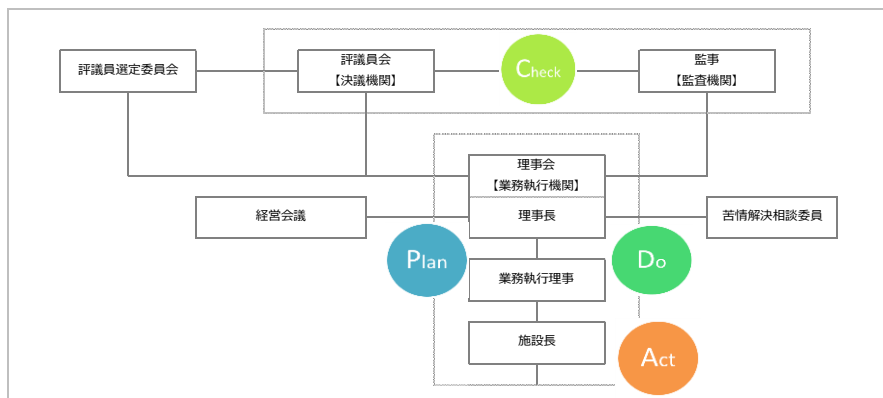


事業活動収支差額 Total balance for the term



企業統治 Corporate governance

2017年4月1日より「社会福祉法等の一部を改正する法律」が施行されました。光仁会富竹の里は、社会福祉法人としての社会的責任を自覚し、高い公益性と非営利性を担保するため、ガバナンス体制の構築と強化、透明性の向上、地域における公益的な取り組みを実施してきました。



理事会・評議員会・評議員選任解任委員会 執行状況

開催年月日	場所	出席者	審議事項
H30.25.26 第116回 理事会	法人会議室	理事6名 監事2名	<ul style="list-style-type: none"> ・評議員退任及び選任候補者推薦書 ・平成29年度事業報告 ・平成29年度決算の承認 ・定時評議員会の日時及び場所並びに目的事項等 ・事業報告計算書類等の監査結果報告 ・理事長及び常務理事の職務執行状況
H30.5.26 第3回 評議員選任 解任委員会	法人会議室	外部委員1名 監事1名 事務局員1名	<ul style="list-style-type: none"> ・評議員の選任について
H30.6.16 定時評議員会	富竹の里 いきいき センター	評議員7名 理事2名 監事2名	<ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度決算の承認 ・第3回評議員選任解任委員会の結果報告 ・平成29年度事業報告
H30.11.21 第117回 理事会	法人会議室	理事6名 監事2名	<ul style="list-style-type: none"> ・平成30度11月補正予算書 ・就業規則の一部変更 ・嘱託及び短時間勤務等職員の就業規則の一部変更 ・育児介護休業等に関する規程の一部変更 ・地域住民を対象にしたスペースの無料開放 ・理事長及び常務理事の職務執行状況
H31.2.22 第118回 理事会	書面決議	理事7名 監事2名	<ul style="list-style-type: none"> ・特養富竹の里・居室内パッケージ型自動消火設備の改修工事を実施すること
H31.3.26 第119回 理事会	法人会議室	理事6名 監事2名	<ul style="list-style-type: none"> ・平成30度3月補正予算書 ・2019年度事業計画書（案） ・2019年度当初予算書（案） ・就業規則の一部変更 ・苦情解決相談委員の選任 ・理事長及び常務理事の職務執行状況

寄付金報告

退所された特養のご利用者ご家族1名の方から、総額20万円のご寄付を頂戴しました。

各事業所 TOPICS

特別養護老人ホーム富竹の里（定員48名） 富竹の里ショートステイホーム（定員16名）



サービスの質向上をテーマに、適切な言葉遣いやプライバシーの確保、ご利用者一人ひとりに丁寧に支援することを目標に掲げて業務改善を進めてきました。

平成24年から積極的に進めてきた喀痰吸引等研修により、喀痰吸引等のできる介護職員の夜間配置が可能となり、新たな加算の算定を開始しました。

ご利用者の利用状況（H31.3.31現在）

男	女	計	最高年齢	最低年齢	最長入所	平均入所
9人	37人	47人	101歳	58歳	27年	3年7か月

要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
0人	0人	5人	23人	19人	47人

要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計	1日平均
0人	0人	1,593人	8,663人	6,331人	16,887人	46.3人

（富竹の里ショートステイホーム）

要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計	1日平均
0人	32人	561人	1,328人	1,079人	11,621人	594人	4,756人	13.0人

特別養護老人ホーム富竹の里和み（定員20名）



業務改善、喀痰吸引等の取り組みのほか、2名の職員がユニットリーダー研修を修了しました。

6回の運営推進会議を開催し、長野市職員、区長、家族会代表者、民生児童委員、地域包括支援センター職員に対し、提供しているサービス内容等の説明や地域との連携強化について話し合い、地域に開かれたサービス提供とその質の向上を図りました。

ご利用者の利用状況（H31.3.31現在）

男	女	計	最高年齢	最低年齢	最長入所	平均入所
3人	17人	20人	100歳	68歳	13年	4年

要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
0人	0人	5人	11人	4人	20人

要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計	1日平均
0人	0人	2,066人	3,514人	1,547人	7,127人	19.5人

介護付有料老人ホーム上松ホーム（定員24名）



ご利用者の心身機能の低下防止をより一層進めるため、11月より機能訓練指導員（理学療法士）を1名配置しました。個別の機能訓練計画を作成し、2月から機能訓練加算を算定しています。また、6回の運営推進会議を開催し、長野市職員、区長、家族会代表者、民生児童委員、地域包括支援センター職員に対し、提供しているサービス内容等の説明や地域との連携強化について話し合い、地域に開かれたサービス提供とその質の向上を図りました。

ご利用者の利用状況（H31.3.31現在）

男	女	計	最高年齢	最低年齢	最長入所	平均入所
3人	19人	22人	99歳	79歳	10年	3年8か月

要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
3人	3人	5人	6人	5人	22人

要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計	1日平均
1,536人	1,078人	1,814人	2,294人	1,683人	8,405人	23.3人

富竹の里デイサービスセンター（定員35名）



通所介護・介護予防通所介護相当サービスでは、ご本人の身体機能の維持、向上を目指し、ご自宅でのご本人の自立支援をはかるため理学療法士、機能訓練指導員を配置し機能訓練を充実させて実施しました。ご利用者一人ひとりの意欲や目的に合わせた個別レクリエーションも毎月実施し、ボランティアの皆さんにもご協力いただき季節の行事なども開催しました。3月には介護者の集いを開催しました。

通所型基準緩和サービス「いきいきクラブ」は火・金曜日(午前午後)、水・木曜日(午後)実施しました。通所型基準緩和サービスは6か月での目標達成・卒業を目指して、意欲的に体操や機能訓練に取り組まれました。介護保険以外でも希望される方は自費でサービスを利用しました。

ご利用者の状況、空き状況などを地域包括支援センター、ケアマネジャーに定期的に報告し、連携をはかりました。

ご利用者の利用状況

【介護保険・相当サービス】

事業対象者	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計	1日平均
5人	357人	1,011人	2,779人	2,188人	1,458人	1,230人	665人	9,693人	26.8人

【通所型基準緩和サービス】

事業対象者	要支援1	要支援2	非該当	合計	1単位平均
1,132人	211人	131人	29人	1,503人	5.2人



通所型基準緩和サービスの様子

富竹の里ホームヘルプセンター



ご利用者一人ひとりの心に寄り添い、安心して過ごしていけるようサービスを提供しました。また、ご利用者、ご家族の悩みや介護の相談などにも耳を傾け家庭や地域・サービス事業者と連携を図り、安心と信頼を頂けるよう努めました。

ご利用者の利用状況

【介護保険・相当サービス】

事業対象者	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
24回	308回	624回	672回	624回	507回	854回	88回	3,701回
24 : 00	292 : 30	607 : 25	576 : 10	682 : 56	383 : 00	743 : 00	94 : 30	3403 : 31

【介護保険・相当サービス】

676回
595 : 00

【障害福祉サービス】

676回
595 : 00

【移動支援事業】

1回
3 : 00

【介護保険・相当サービス】

21回
43 : 30

光仁会富竹の里介護支援センター



平成30年度は、新規依頼が44件あり、例年よりも多い状況でしたが、同時に契約終了となるケースが53件と、こちらも例年よりも特段に多い状況となりました。契約終了の内訳として、特養に入所される方や医療機関に長期入院される方が多く、お身体の状態の変化や医療的処置が必要になる等で入所、入院が必要となり契約終了となるケースが多くありました。

新規の依頼では、地域包括支援センターからの申請中の段階での依頼や、病院からのターミナルケアの方の相談も多くあり、各関係機関との密な連携や、迅速な対応を行い、スムーズに在宅生活を送れるような調整支援が必要になっています。

認知症の一人暮らしの方、ご夫婦2人とも高齢で共に要介護認定を受けている方、医療的ニーズが高い方、ターミナルケアの方など、それぞれのケースのニーズに合わせた対応が求められています。

ご利用者の尊厳を守り、在宅での生活が継続できるよう、自立支援に向けた居宅サービス計画書の作成を行い、適切な相談援助が行えるように、サービス事業者やインフォーマルサービス等との連携を図りながら誠実、迅速に対応しました。

ケアプラン作成件数等

介護給付	1,531件
介護予防給付	88件
介護予防ケアマネジメント（総合事業）	25件
新規利用	
・介護	44件
・介護予防	2件
・介護予防マネジメント	5件
入院時連携加算	54回
退院・退所加算	43回
契約終了	53件

契約終了内訳

- ・死亡19名
- ・特養入所12名
- ・介護付有料老人ホーム入所2名
- ・他事業所へ変更8名
- ・介護予防給付移行4名
- ・長期入院（療養型）8名

長野市地域包括支援センター富竹の里



地域包括支援センターは、福祉・保健・医療などに関する高齢の皆さんの総合相談窓口としての役割があります。社会福祉士・保健師（看護師）・主任ケアマネジャーの専門職が配置されています。介護予防などのケアプランの作成については、昨年度より増加傾向しました。

総合相談支援事業については、地域の方から多種多様な相談を幅広く受け付け、早期対応を心がけ必要な支援につなげました。

権利擁護事業については、安心した生活が継続できるよう金銭管理支援を行う成年後見制度の活用促進、高齢者虐待の未然予防など対応を行いました。

包括的・継続的ケアマネジメント事業については、地域ケア会議の開催や情報交換の場を設けてケアマネジャーへの日常的な個別相談支援などを実施しました。

引き続き、医療と介護の連携や地域のさまざまな連携機関と協力しながら住民が暮らしやすい地域にするためのネットワーク作りに努めてまいります。

ケアプラン作成件数等

予防給付ケアプラン作成数	155件
総合事業ケアプラン作成数	145件
総合事業基本チェックリスト実施数	35件

介護予防給付件数	1,634件 うち委託352件
介護予防ケアマネジメント（総合事業）	1,408件 うち委託237件

相談件数

介護保険	405件
住宅福祉サービス	62件
施設・住まい	81件
医療	43件
高齢者虐待	64件
成年後見制度	9件
苦情	2件
消費者被害	2件
その他	145件
合計	813件

介護予防教室等開催実績

実施月	内容	講師	参加人数
5月～6月	介護予防教室 脳若体操 3回シリーズ	認知症予防診断士 月岡 照美 氏	延べ38名
8月	介護予防教室 笑って楽しく元気体操 3回シリーズ	健康運動指導士 宮崎 博記 氏	延べ111名
10月	介護予防教室 笑って楽しく元気体操パート2 3回シリーズ	健康運動指導士 宮崎 博記 氏	延べ102名
7月	介護者教室 認知症の人の理解と運転について	（社福）グリーンアルム福祉会 認知症介護指導者 斎藤 俊一 氏	15名
9月	介護者教室 健康長寿の食生活	長野県栄養士会副会長 管理栄養士 馬島 園子 氏	20名
12月	介護者教室 介護の知恵袋 かんたん介護術	デイサービスほかほかの家 管理者兼作業療法士 芦原 大致 氏 サクラケア 福祉用具専門相談員 徳永亜希子 氏	20名

社会福祉法人光仁会富竹の里
発行 2019年5月
責任者 施設長 嶋田 直人
〒381-0006 長野市大字富竹1621番地
TEL026-296-7383 FAX026-296-7384
<http://tomitake-carenet.com>